

○水生生物モニタリング調査結果一覧（宇多川C）

＜宇多川C　水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質（Cs）	水質（Sr）	底質（Cs）	底質（Sr）
C－6	○	○	○	○	○	○

＜宇多川C　現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
調査地点	緯度	経度	日	時刻（水）	時刻（泥）	水温（℃）	泥温（℃）	性状	色相	混入物	全水深（m）	透視度（cm）
C－6	37. 7764°	140. 8877°	R6. 12. 10	09:35	10:02	5. 7	6. 9	砂	2. 5Y4/2	なし	0. 41	>50

＜宇多川C　一般分析項目・放射性物質分析項目　水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD （mg/L）	COD （mg/L）	DO （mg/L）	電気伝導率 （mS/m）	塩分	TOC （mg/L）	SS （mg/L）	濁度 （度）	Cs-134 （Bq/L）	Cs-137 （Bq/L）	Sr-90 （Bq/L）
調査地点	緯度	経度	日	時刻												
C－6	37. 7764°	140. 8877°	R6. 12. 10	09:35	7. 7	0. 9	2. 3	13. 0	10. 6	0. 06	1. 2	<1	0. 7	N. D. (0. 0015)	0. 0030	0. 0019

注）N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜宇多川C　一般分析項目・放射性物質分析項目　底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N. H. E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)				
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0.85～2mm) (%)	中砂 (0.25～0.85mm) (%)	細砂 (0.075～0.25mm) (%)	シルト (0.005～0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)			
調査地点																								
C－6	37.7764°	140.8877°	R6.12.10	10:02	7.4	478	24.8	1.3	0.7	2.690	2.8	37.5	57.9	1.3	0.5		0.76	4.8	0.87	61	0.58			

注）N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜宇多川C　分析項目　水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 （kg-wet）	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 （Bq/kg-wet）
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
C-6	宇多川本流	37. 7764°	140. 8877°	R6. 12. 7	藻類・植物	－	－	－	－	河床付着物（藻類を含む）	－	0. 024	－	－	－	23	N. D. (5. 4)	23	－
					節足動物	昆虫	カゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera orientalis</i>	トウヨウモンカゲロウ	360	0. 021	幼虫	－	－	10	N. D. (2. 8)	10	－
					節足動物	昆虫	カゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>	モンカゲロウ									
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>	カミムラカワゲラ	246	0. 024	幼虫	－	－	1. 2	N. D. (1. 2)	1. 2	－
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Paragnetina suzukii</i>	スズキクラカケカワゲラ									
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	2	0. 027	未成魚	－	－	3. 4	N. D. (1. 3)	3. 4	－
					粗粒状有機物	－	－	－	－	水底落葉等	－	0. 23	－	－	－	4. 4	N. D. (0. 51)	4. 4	－

- ※１：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
- ※２：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
- ※３：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。
- ※４：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、　内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、　除去して測定した。
- ※５：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。
- ※６：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
- ※７：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
- ※８：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。